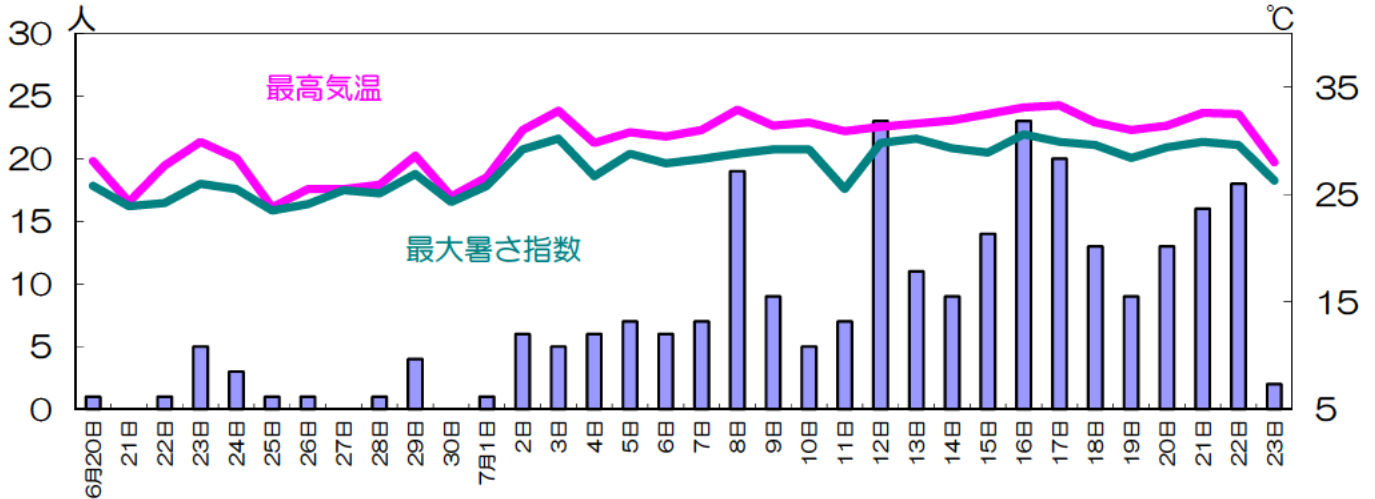


# 熱中症情報

## <搬送数>

平成29年5月1日～7月23日までの搬送数（消防局データを使用）は、計339人（5月48人、6月42人、7月249人）でした。7月7日以降、最高気温30℃以上と真夏日が続いており、搬送数が増加しています。これから残暑の季節まで、熱中症のリスクは続きます。真夏日や猛暑日が予想される日には、特にご注意ください。

こまめに水分を補給し、適度に塩分を取り、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける事が大切です。また、室温は28℃を超えないようにエアコンで調節して、暑さから身を守りましょう。



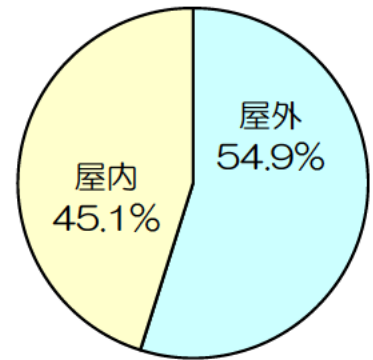
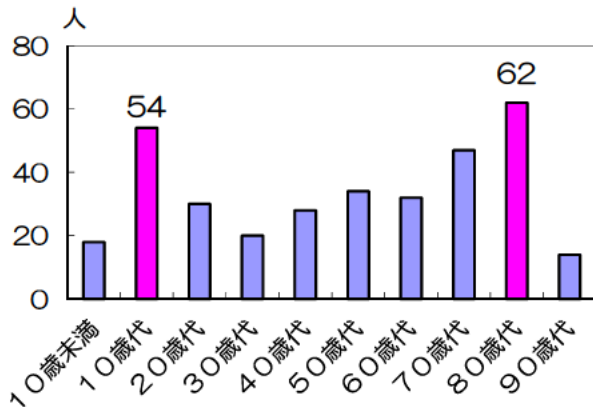
暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標  
詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト（暑さ指数 \(WBGT\) とは？](#)」をご覧ください。

## <年齢別>

年齢別では、80歳代が18.3%と、一番多く、次に10歳代が15.9%でした。

## <発生場所>

屋外54.9%、屋内45.1%で、屋外での発生が多くなっています。



## <重症度>

軽症59.6%、中等症33.6%、重症5.3%、重篤1.5%でした。重症以上は、90歳代5人、80歳代7人、70歳代2人、60歳代3人、50歳以下6人でした。高齢者（65歳以上）になると、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

